

科目名	生涯学習論				
担当者氏名	井上 敏孝				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	1年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 教養教育-1 国際社会に貢献できる人材育成 ◎ 教養教育-2 豊かな人間性の醸成 ○ 教養教育-3 コミュニケーション能力の向上				

《授業の概要》

本講義では、生涯学習の理念が提唱された歴史的経緯について理解を深める。また家庭・学校・地域における生涯学習の役割やあり方について考えるとともに、国内外における生涯学習の取り組みを比較分析することで日本における生涯学習の課題を認識する機会とする。そして教育を「生涯学習」という観点で捉え、自ら学習活動を構築するための専門的な知識の獲得し、その方法論について学んでいく。

《授業の到達目標》

生涯学習の意義を実感的に理解するとともに、生涯にわたって学習を実践するための専門的スキルを身に付けることを目指す。

さらには具体的な現場における活用・実践例を幅広く分析し、検討することで、様々な場面における生涯学習の可能性について主体的に考え、企画し実践する力を培うことを目的とする。

《成績評価の方法》

授業への参加度・貢献度（30%）、発表内容（20%）、授業終了時のレポート（50%）を加えて総合的に評価する。5回以上欠席した場合は、レポートを受け付けない。

《テキスト》

なし。適宜レジュメ・資料を配布する。

《参考図書》

参考文献等はその都度紹介する。

《授業時間外学習》

授業内で発表や活動を行う際は、事前に課題を出すことがある。その際は関連する資料等をよく読んで、自身の考えをまとめて授業に臨むこと。また日頃から新聞記事やニュースに目を通し、生涯学習のあり方や交流教育について関心を持っておくこと。

《備考（教員経験の有無）》

随時発問や活動を加えつつ授業を進めていくので、積極的な姿勢での参加が望ましい。この教科は中学校の教員経験に基づき構成しています。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	ガイダンス	本授業の概要と授業の進め方、評価方法等についてガイダンスを行うとともに、教育基本法等で示された生涯学習の理念や定義について理解する。
2	生涯学習の意義と役割	「生涯学習」という考えが誕生した経緯や歴史的背景について概括する。
3	生涯学習と家庭教育	生涯学習時代における家庭教育のあり方について考察する。
4	生涯学習と学校教育	生涯学習時代における学校教育のあり方と役割について考察する。
5	生涯学習と社会教育	生涯学習時代における社会教育の役割について考察する。
6	生涯学習の学びの場①	図書館・スポーツ施設等における具体的な取り組みについて分析する。
7	生涯学習の学びの場②	学校・公民館等における具体的な取り組みについて分析する。
8	事例研究①	実際に行われている生涯学習の事例について取り上げ検討する。
9	事例研究②	実際に行われている生涯学習の事例について検討し討議する。
10	諸外国における生涯学習の活動	日本における生涯学習の取り組みと諸外国の事例とを比較検討する。
11	生涯学習社会の展望と課題	生涯学習社会における課題と可能性について検討し、生涯学習と生涯教育の違いについて理解する。
12	生涯学習の展開①	生涯学習を企画するためのプロセスを把握し、具体的な計画の立案を行う。
13	生涯学習の展開②	立案した活動内容について発表する。
14	生涯学習の展開③	企画立案した生涯学習のプログラムを実践する。
15	まとめ	本授業で学んだことを総括するとともに、レポート課題を発表する。